



# NITE化学物質管理フォーラム2006

- 化学物質管理に果たすNITEの役割 -



主催：独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター

日時：平成18年1月31日(火) 9:25～16:00

場所：津田ホール(東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24) <http://tsudahall.com/THHP/annai.html>

## 講演会

9:25～16:00 受付=9:00～

3階津田ホール

【事前申込制】

時間・演題・演者は、予告なく変更する場合がございます。

時間	演題・演者
9:25～9:30	開会 化学物質管理センター計画課専門官 片岡 道夫 (司会進行)
9:30～10:10	特別講演1 「総合科学技術会議の議論に見る化学物質リスク総合管理技術」 早稲田大学理工学術院教授 松本 和子 先生
10:10～10:30	「PRTR対象物質の初期リスク評価」 化学物質管理センターリスク評価課長 小塚 康治
10:30～10:50	「PRTR届出データの概要とその精度向上に向けた取組」 化学物質管理センターリスク管理課主任 澤田 光博
10:50～11:00	休憩
11:00～11:20	「改正化審法による新規化学物質の審査・確認」 化学物質管理センター安全審査課主任 酒井 健一
11:20～11:40	「化学物質管理センターによるウェブサイトからの情報提供」 化学物質管理センター情報業務課主任 佐藤 維磨
11:40～12:00	「化学物質管理センターの人材育成と外部ネットワーク構築」 化学物質管理センター計画課長 五十嵐 卓也
12:00～13:45	昼休み
13:45～13:55	ごあいさつ NITE理事長 御園生 誠
13:55～14:25	特別講演2 「我が国の化学物質管理政策とNITEへの期待」 経済産業省製造産業局化学物質管理課長 獅山 有邦 氏
14:25～14:45	「OECDの環境保健安全プログラムとNITEの取組」 化学物質管理センター計画課 中川 知香
14:45～15:00	休憩
15:00～15:50	パネルディスカッション「科学的リスク評価に基づく化学物質管理のあり方」 パネラー： ・ノニルフェノールリスク評価管理研究会委員長 東海明宏氏(産業技術総合研究所) ・フタル酸エステル類リスク評価管理研究会委員長 吉田喜久雄氏(産業技術総合研究所) ・ビスフェノールAリスク評価管理研究会委員長 河村光隆教授(工学院大学) モデレータ：化学物質管理センター所長 重倉光彦
15:50～16:00	閉会 化学物質管理センター職員一同

## 展示・説明会

10:00～15:00

1階T101・T102会議室

事前申込不要

PRTRデータを活用した暴露評価手法の開発  
化学物質の初期リスク評価手法の開発  
ビスフェノールAのリスク管理の現状と今後のあり方  
MSDS作成を支援する環境整備に関する調査  
PRTR届出相談室  
改正化審法相談室  
行政利用を目指した構造活性相関手法(QSAR)の開発  
化学物質総合情報提供システム(CHRIP)  
標準物質総合情報システム(RMinfo)  
リスクコミュニケーション支援サイト「化学物質と上手に付き合うには」  
Japanチャレンジプログラム  
我が国のバイオサイド管理  
化学兵器禁止条約に基づく国際査察の受入れ  
JCSS標準物質の基準物質の長期保存安定性試験  
容量分析用標準物質の供給体制

## NITE化学物質管理センター技術専門職員募集に係る業務説明会

12:15～13:30

2階T213控室

事前申込不要

別途「技術専門職員募集要項」<http://www.safe.nite.go.jp/bosyu0512betu.html> がございますので、御参照ください。

## 問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)化学物質管理センター計画課 担当:山口  
電話: 03 - 3481 - 1977 URL: <http://www.safe.nite.go.jp/>